障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

【基本情報】

L — 1 117 1 M 2						
フリガナ	シャカイフクシホウシ゛ンサカイシシャカイフクシキョウキ゛カイ					
法人名	法人名 社会福祉法人坂井市社会福祉協議会					
フリガナ	フリガナ サカイシシャカイフクシキョウキ゛カイミクニキホ゛ウェン					
事業所名	事業所名					
提供サービス(複数のサービスを	提供している場合は、主たる1つのみ選択)					
就労継続支援B型						
職員数(常勤換算数) 【「全職	職員数(常勤換算数) 【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出(産休・育休、休職は除く)】					
3.1 人						
ICT機器等導入完了日	ICT機器等導入完了日 令和6年9月12日					

※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい
職員間の情報伝達・情報共有	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい
請求業務	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい
勤怠管理	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい
シフト表作成	①ICT機器等を導入していない(紙中心で事務作業を行っている)
給与業務	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい

- ※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。
 - ①ICT機器等を導入していない(紙のみで対応)
 - ②一部、ICT機器等を導入・活用している(紙とICT機器等で対応)
 - ③ICT機器等を導入・活用している(全てICT機器等で対応)

(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台 数	備考
⑧その他	②情報の共有化	DMM.makeDISPLAY DKS-4K55DG6	1	ディスプレイモニター
8その他	②情報の共有化	DMM.makeDISPLAY スタンド DKS-LCS4	1	ディスプレイスタンド
8その他	②情報の共有化	logicool MeetUp Webカメラ	1	Webカメラ
⑧その他	②情報の共有化	YAMAHA スピーカーフォン YVC-330	1	Webスピーカーフォン

- ※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。
 - ・情報端末等・・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
 - ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
 - ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター
 - なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。
- ※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。
- ①作業の迅速化(支援記録の作成など)
- ②情報の共有化(職員間の情報伝達・情報共有など)
- ③業務の統合化(請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など)
- ④その他
- なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

- (3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況
- ① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生作 A.ひと月当たり 発生件数	+数 B.年間発生件数 (A×12)	C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備考
①支援記録の作成	3人	6件		150 分	180 時間	60 時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	3 人	6 件	72 件	210 分	252 時間	84 時間	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
			0件		0 時間	#DIV/0!	
		12 件	144 件	360 分	432 時間	#DIV/0!	

^{※「}具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

①ケース会議等の月平均件数

②連携会議、研修等の月平均件数

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①ケース会議等の平均所要時間 ②連携会議、研修等の平均所要時間

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

- と 1011級船守等八枚の未然	- 3 [· 3 [3 [4] (
業務内容	業務従事者数	発生作		C. 1件当たりの	カ 年間業務時間	年間業務時間	1人あたり 業務時間	備考
未物的份	未勿促爭有奴	A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)	平均処理時間	D (B×C)	(D/業務従事者数)	V⊞ ² 5	
①支援記録の作成	3 人	6 件	72 件	120 分	144 時間	48 時間		
②職員間の情報伝達・情報共有	3 人	6 件	72 件	180 分	216 時間	72 時間		
			0 件		0 時間	#DIV/0!		
			0 件		0 時間	#DIV/0!		
			0 件		0 時間	#DIV/0!		
		12 件	144 件	300 分	360 時間	#DIV/0!		

^{※「}具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

①ケース会議等の月平均件数

②連携会議、研修等の月平均件数

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①ケース会議等の平均所要時間

②連携会議、研修等の平均所要時間

年間業務時間数削減率(%)

16.7%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

》 10 1 版品 () 等/(的 2) 1 %/(目 至					
	作成文書量				
作成文書	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量			
	れ.ひと万当たり	(A×12)			
記録業務(請求等事務・ケース・他機関連携等)	50 ページ	600 ページ			
情報共有(ケース・他機関連携・会議・研修)	30 ページ	360 ページ			
請求事務(月次処理等)	600 ページ	7,200 ページ			
	680 ページ	8,160 ページ			

④ ICT機器等導入後の作成文書量

① 10 1版的分等八枚9 1F 版大自里					
	作成文書量				
作成文書	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)			
記録業務(請求等事務・ケース・他機関連携等)	40 ページ	480 ページ			
情報共有(ケース・他機関連携・会議・研修)	20 ページ	240 ページ			
請求事務(月次処理等)	580 ページ	6,960 ページ			
	640 ページ	7,680 ページ			

年間作成文書量削減率(%)

5.9%

(4) (T.A	器等	の道	īλ	幼	果
١	. —	, ,	, 1 1/52	A T T	マノコ	= / \	- ス/ I	\sim

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

慣れている若い職員のレクチャーによりケース会議や研修等はICTに不慣れな職員もできる限り活用したことで業務時間や作成文書量を削減できた。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか(事業所内の推進体制、外部への相談など)を記載してください。 また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化(複数選択可)

©101% 船中の等人による未効の交化(後数医1/円)	
情報端末導入による効果	ソフトウェア導入による効果
☑ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。	□ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
□ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。	□ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
□ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。	□ 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
□ 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。	□ 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
□ 5 その他の効果があった。	□ 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
□ 6 効果がなかった。	□ 6 その他の効果があった。
	□ 7 効果がなかった。
※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。	※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

会議へのリモート参加が可能になったことで公用車運転の負担や移動時間の効率化など職員の業務負担軽減を図ることができた

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、 具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

利用者へのかかわりやコミュニケーションのほかサービス提供以外の業務(記録等)

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減 有

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額(円)	520円
職員の賃上げ等への充当	無
その他職場環境の改善への充当(※1)	有
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	有

(※1)「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

職員の業務負担軽減により職員間のゆとりととともに互いの連携が強化され職場環境の向上にも結びついた

(※2)「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。

利用者への声かけやスキンシップなどコミュニケーションの機会を増やすことができた